



巻頭Photo 高尾山の生きものたち

オオバウマノスズクサ (ウマノスズクサ科)

ジャコウアゲハの食草であるオオバウマノスズクサは6個の稜(りょう)がある果実をつける。毎年その状態のものはよく見かけるが、その後の姿はいつも見逃している。今年はたまたま、見つけることができた。こんな風に裂けたのでは下に落下するしかないと思うのだが、種子散布は誰にゆだねているのだろうか。(富)



○フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎氏の「巻頭 Photo 高尾山の生きものたち」につきましては、本人の都合によりしばらくの間お休みとなります。

アサギマダラとキジョラン

秋になって白い花の咲く草花が目立つようになってくると、アサギマダラが花の蜜を吸いながら、花から花へゆったりと飛ぶ姿が目につくようになってくる。頭の上方で飛んでいる時に、白いタオルをゆっくりと回すとアサギマダラが近づいてくる。ここで少し回す速度を落とすと、タオルに止まることもある。白い花と勘違いするのかもしれない。

アサギマダラの食草は、つる植物のキジョランである。丸い葉のあちこちに小さな円形をくり抜いたあとが目立つ。こんな葉を見つけたときに、葉の裏を見るとアサギマダラの幼虫が見つかることもある。



このキジョランの種は、白いふわふわの毛をつけて、冬になると種子散布のために、ゆっくりと風に舞う。この白い毛が鬼女(キジョ)の髪の毛に見立てられて、キジョランと名づけられたといわれている。しかし、木漏れ日の射す林道で、この種が光りの中で舞う姿は、まさに「天使の舞い」といいほどだ。思わず息をのむ。この瞬間に出会えたときは、喜びがわいてくる。たまにしか出会わないが、天使に出会ったときは、何かいいことが起きそうな予感を感じさせる。(富)



サラシナシウウマの蜜を吸うアサギマダラ



キジョランの種子

森林カレッジⅢ 木の成長としくみ

10月7日に、森林カレッジⅢを日影沢キャンプ場において開催しました。雨の影響で開催が危ぶまれる状況でしたが、体験作業が予定されていた午後からは快晴となり、無事にプログラムを実施することができました。

午前中は、元森林総合研究所多摩森林科学園長の三輪雄四郎先生による講義「木の成長としくみ」です。木の成長について、細胞レベルでの解説や木材のサンプルを水槽に浮かべての実験など興味深い構成となっています。参加者からは「成長のメカニズムが初めて理解できた」「知識を習得する良い機会を得られた」「漠然としていた考えが明確になりスッキリした」など高い評価をいただきました。



三輪先生の講義（年輪の構造を学ぶ）

午後からは除伐作業の体験を行いました。雨上がりに急斜面でノコギリを使っての作業とあってか、開始早々はかなり苦勞をされている様子もありましたが、全員が無事に作業を体験できました。「もう少しやりたかった」「数年後の状況を確認したい」「間伐もやってみたい」「木を育てていくために必要な作業であると確認することができた」などたくさんの感想をいただきました。今回は雨天が予想されたため丸太切りの準備もしていたので、希望者には丸太切り体験も実施しました。用意したヒノキの間伐材は想像以上に手強かったらしく、皆さん額に汗をかきながら必死にノコギリを引いていました。



作業中の安全確保について説明を受ける参加者



斜面での除伐体験作業中



体験終了後、一日を振り返る

5月に始まった森林カレッジも3回が終了し、いよいよ最終回を残すのみとなりました。今後も森林カレッジ参加者の皆さんの活躍にご期待下さい！（磯）

森林教室

八王子市立 七国小学校

10月3日の残暑の残る中、八王子市立七国小学校の5年生155名が校外での体験的な学習（高尾移動教室）のため高尾を訪れ森林教室を体験しました。センターが実施する森林教室の中で参加児童数が最も多い小学校です。

午前中は「森林学習・丸太切り班」、「森林散策班」と児童を大きく2つの班に分け、午後は入れ替えて実施しました。

前日の高尾山登山の疲れや宿泊先で「良く眠れなかった」とぼやく子もいる中で森林散策は、「学習の歩道の登りがきつい！」や「狭くて怖い！」などの声が聞こえてきましたが、「ヤッホー」ポイントでは大声で叫んだり、ヒノキの香りがする間伐の丸太に触れるなど高尾山の自然を満喫していました。

森林学習では、アニメとクイズで自然環境について学び、森林のはたらきや高尾の動物に興味津々。

丸太切りでは、児童達はノコギリを使用した経験があり、一人3～4枚は輪切りを切っていました。また、なかなか思うように切れない子もいましたが、

みんなに応援され頑張りました。森林教室が終わってみると、前日の宿泊の疲れも見せず、元気よく帰路に着きました。（屋）



今から体験開始！
みんなワクワクです



この木何の木？
すごくいいにおい！

森林教室

横浜市立 榎が丘小学校

すっきりしない天気が続く、前日の夏日から一転、急に冷え込んだ10月4日、横浜市立榎が丘小学校4年生3クラスの生徒116名が森林ふれあい館を訪れました。今年で2回目となった榎が丘小学校の当センターでの森林教室ですが、今年は都合により森林観察は実施しないことになったため、これまで行ってきた森林教室のプログラムを変更し、全員に森林学習および丸太切り、木工品作成を体験してもらうこととし、クラス毎に交替でそれぞれ体験してもらいました。

今回の森林教室では、各体験をクラス毎に行ったためか非常にまとまりが感じられ、特に、丸太切りでは、初めての体験で恐る恐る鋸を引く生徒に「もう少しだよ」「頑張って」「やった～」など声を掛け合いながらみんながひとつになり2枚3枚と思い思いの大きさの輪切りに挑戦していました。

また森林学習では、地球温暖化や森林の働きなどについて学び、質問の時間には、「間伐で残った根っこ

はどうなるの？」「地球上で地球温暖化の影響が一番受けている所はどこ？」「荒廃した森林は何年で整備されるの？」等4年生とは思えないような質問が次々と出され、回答するスタッフは大変苦労していました。

2日連続の森林教室開催に加え初めてのプログラムでの開催となったため、閉校式の際にはスタッフの顔に疲労感がにじみ出ていましたが、閉校式を終えバスに乗り込む生徒から「ありがとうございました」「楽しかったです」と口々に発せられるお礼の言葉に疲れも吹き飛んだのかバスを見送るスタッフの顔は笑顔に満ちていま



あと半分？
もう少しで切れるよ！

10月6日、肌寒さを感じる森林ふれあい館に、八王子市立片倉台小学校5年生44名の子どもたちが移動教室に訪れました。今シーズン初めてペレットストーブに火が入った日です。

バスから降りてきた子どもたちは、「おはようございます。」と元気に挨拶をしながらふれあい館に入ってきました。開校式では、「全員が最高に楽しく思い出に残る移動教室」と題し、3つの約束が記載された横断幕を張り出し、全員で確認し合い移動教室がスタートしました。

当日は午後からの天候が怪しかったため、野外活動を先に実施するメニューに変更。早速職員の家内で森林散策に出発しました。案内した職員が驚いたのは、子どもたちがしおりを片手に熱心にメモをとる姿でした。話を聞くと11月に移動教室で学習したことを発表する場があるとのこと。職員たちは「いい加減な話にはできない!!」と、それぞれが緊張した中での散策となりました。

午後からは丸太切りを実施し、図工等で使うノコギリと違うせいか「あっ、曲がっちゃった～」と悪戦苦闘する姿も見受けられましたが、数を重ねるうちに

ノコギリの扱いも上達し、2mm程の厚さの輪切りを器用に作る子もいました。

最後は座学です。地球温暖化を題材としたDVDと森林の働きなどについて講義を受けました。その後の質問タイムでは、発表会のまとめのためか鋭い質問のオンパレードに職員全員で回答しましたが時間が足りず、対応できなかった部分は後日連絡を頂き誠意を持って回答する事を約束し移動教室を終了しました。

閉校式では、代表者から「森林の働きを詳しく知ることができ有意義な時間を過ごすことができました。今日学習したことを発表会でまとめたいと思います。」とお礼の言葉が述べられました。結局は子どもたちの熱意に負けたのか心配した雨は降らず、見送りを受けた子どもたちが帰校した後降り出しました。(関)



講義のメモをとる
みな真剣です！

一般公募イベント 山の日記念

炭焼きと森林散策

開催日時：平成29年12月9日(土) 9:50~15:00

開催場所：日影沢第2園地・炭焼小屋(八王子市高尾山国有林。JR中央線、京王線の高尾駅北口から京王帝都バス「小仏」行きに乗車し、「日影」バス停で下車。そこから現地までご案内します。

内容：炭焼きと森林散策

募集人員：20名(応募者多数の場合は抽選)

応募締切：平成29年11月27日(月)必着

開催場所：往復ハガキの往信面に①イベント名②郵便番号③住所④参加者全員の氏名(必ずふりがなをつける)⑤年齢⑥確実に連絡がつく電話番号、返信面に申込者の宛名を記入の上、**高尾森林ふれあい推進センター「炭焼き体験と森林散策」**係までご応募ください。

参加料：一人あたり100円(保険料)

持物・服装：弁当、雨具、作業しやすい服、軍手外
○詳しくは高尾森林ふれあい推進センターHPをご覧頂くか、下記連絡先までお問合わせください



11月1日から「高尾山もみじまつり」が始まり、今年も本格的な紅葉シーズンを迎えました。日ごと寒さを増す高尾山、温かいお蕎麦や団子など冬グルメが充実しております。暖かい服装でお越しください。

今月号から編集が交代しました。2年ぶりの高尾、心機一転がんばります。(ま)

Forest通信 No.345

発行：高尾森林ふれあい推進センター
Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

